

UNITE
FOR
GOOD2025-26年度 国際ロータリー会長メッセージ
『よいことのために手を取りあおう』
RI 会長 フランチェスコ・アレツォ川崎北ロータリークラブ会長方針
『川崎北ロータリークラブ会員である自覚を持ち、
当クラブを継続性のあるクラブへ』
会長 谷口一成Rotary  川崎北ロータリークラブ会報

会長 谷口一成

幹事 松山直樹

会報委員長 大塚 正一

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30 二子玉川エクセルホテル東急

第3131例会

令和8年4月15日(水)

(本年度第31回)

点 鐘

谷口一成 会長

司会と斉唱

帯谷昌充 会場監督

大西陽子 ソングリーダー

「それでこそロータリー」

会員数 39名 (対象外2名)	出席 23名	欠席 16名 出席率 62.16%
--------------------	--------	----------------------

前々回訂正 (対象外1名)	欠席 16名	MAKE UP 5名 訂正出席率 72.97%
------------------	--------	----------------------------

お客様紹介

谷口一成 会長

ゲスト・スピーカー

株式会社OK WAVE 代表取締役 兼元 謙任 様

会長報告

谷口一成 会長

1. 第2グループ現・次期合同 会長幹事会のご案内が届いております。

日時：2026年5月18日(月) 18：00～

場所：ホテル精養軒

※谷口会長・松山幹事、次年度：野口会長・土田幹事の4名で出席してまいります。

2. 神奈川東 RC より、創立50周年記念式典のご招待状を頂戴しております。

日時：2026年5月22日(金)

式典 16:00～ 祝賀会 18:00～

会場：横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ5階

幹事報告

松山直樹 幹事

1. 他クラブ例会臨時変更

● 川崎西北 RC

4月16日⇒17日(金)

4クラブ合同セミナー 16：00～17：30

(川崎西・川崎高津・川崎高津南・川崎鷺沼)

セミナー終了後、川崎西 RC 夜間例会に出席

点鐘 18：00

4月30日・5月7日(木) 休会

5月21日(木) 移動例会

日帰りバス旅行 国会議事堂見学

2. 例会等のご案内

4月15日(水) 卓話：世界初のQ&Aサイト「OK

WAVE」製作者で同社創業者

兼元 謙仁様

「逆境をチャンスに変える感謝思

考」

例会後、クラブ協議会

4月22日(水) 卓話：国土交通省 気象庁次長
小林豊 様

「気象とデジタル社会・経済」

例会後、第1回被選クラブ協議会

4月29日・5月6日(水) 休会

委員会報告

ロータリー財団委員会：米山元章 委員長

財団の方の寄付の件ですが、未だ集金が足りていません。お忘れのないようお願いします。米山の寄付の方もまだ足りておりませんので、よろしくお願いします。

卓話

株式会社OK WAVE 代表取締役

兼元 謙任 様

「逆境をチャンスに変える感謝思考」



本日はお招きいただきありがとうございます。

私は約20年前にQ&Aサイトを立ち上げました。誰かが質問を投稿すると、インターネットの向こう側の誰かが答える、というものでした。この発想は、当初ほとんど相手にされませんでした。インターネットには詐欺が横行している、と言われた時代です。「良い回答が来るはずがない」と言

われながら開始しましたが、現在では約150カ国、約1億人が使用する、助け合いが生まれる場へ育ちました。質問も回答も、すべて無料です。

この仕組みを動かしたのは、お金ではなく「感謝」でした。知識を分かち合いたい、感謝されることが嬉しい、という動機がコミュニティを支えました。

AIとロボティクスの進展により、仕事は再編されると考えています。テスラや中国企業は柔道やダンスをこなすロボットを実用化しようとしており、介護領域にも踏み込みつつあります。AIは人間に気づかれぬよう賢さを隠しているという比喩が語られるほどに進化し、私たちの業務の8～9割が代替される可能性があります。

ここで問われるのは、「人間の固有価値をどう位置づけ直すか」だと思います。私は運営経験から、人が無償で良質な知を差し出す動機が「感謝」にあると確信しています。技術が効率化するほど、感謝や信頼といった非貨幣的価値がコミュニティを支える比重は増します。テクノロジーの進展と人間の動機づけを結ぶ設計が必要です。

私はこの感謝を可視化し、循環させる「感謝経済」を構想してきました。

暗号資産が開く24/365の金融

Q&Aサイトに「投げ銭」を実装したいと考えたのは早い段階でした。しかし、例えばアフリカに1円相当を届けるだけで数千円のコストがかかる時代でした。5～6年前、暗

号資産を用いれば少額送金が可能になり、日本で初めてビットコイン送金機能を実装しました。法整備が追いついていなかったため、金融庁から呼び出されて、20代の若い管理官に「何をやってるんだ、お前らにお札の輪転券を渡すと思ってるのか」と高飛車に言われました。

そのように、当局から厳しい指摘も受けましたが、ブロックチェーンが「土日も止まらない」決済網を実現する、という本質に着目しました。ビットコインは手数料が高めですが、イーサリアムなど別の暗号資産を使うことで、0.1円程度で世界160カ国規模への送金が見えてきました。銀行の営業時間や承認プロセスによる制約に対し、分散型ネットワークは多数のノードが合意形成により台帳を確定し、24時間365日の金融を可能にします。国家通貨に採用した国も現れ、準備資産としての位置づけが議論される段階に入りました。通貨発行権は国家機能の中核ですが、広範な合意を得た資産が台頭することは、地球規模の共通インフラに近い意味を持ちます。

社会にはお金で測りきれない価値が多く存在します。夜間の福祉現場で命を守る仕事、地域のボランティア、行政の管轄をまたぐ暮らしの知恵など、尊いのに報酬が追いつかない場面が少なくありません。

Q&Aでも、自治体のごみ分別や境界をまたぐ実務について、市役所の公式回答が得られない領域を住民同士の知恵が補完します。これは「価値の創出」ですが、通貨では計測されにくいのです。そこで、「感謝経済」を構想しています。見えない価値を「感謝」という単位で可視化し、蓄積・授受し、その履歴を改ざん耐性の高い仕組みで保管するという設計です。

暗号資産インフラが一般化すれば、感謝のトークン化と相互運用が可能になります。お金は大切ですが、お金では捉えきれない社会的貢献の価値を併走させ、相互に補完し合う経済圏を作りたいのです。

逆境体験



私自身の逆境体験が、この構想の源泉です。韓国人の父と日本人の母の間に生まれた2世として、小学5年のときに自身が韓国籍であること知りました。その直後、上級生や同級生から「朝鮮人」と呼ばれて囲まれ、汚水に押し込まれ、顔面をぶつけて出血し、視

力を失い、歯も折れました。幼い頃の差別と暴力の体験は、社会の見えない境界が人を傷つける現実を教えました。約25年前にはホームレス状態も経験し、居場所も資産も失う中で人の温かさや小さな助けの連鎖に救われました。制度や市場に乗れない価値、つまり「感謝」によって人がつながり生き延びられることを身をもって知りました。だからこそ、テクノロジーが整う今、善意や知恵を価値として記録し、再分配に組み入れる仕組みを作りたいと考えています。

助け合いの市場発見と企業実装

Q&Aで最初に手応えを得たのはパソコン領域でした。ハード・OS・ソフトが絡む不具合は責任の所在が曖昧で、ユーザー同士の知見の束ねが機能しました。企業サポートも同様です。配送か製造か不明な問い合わせに、企業が答えられる範囲で一次対応し、残りを助け合いの場を開く。私たちは問合せを適所に自動振り分けるワークフローを提供し、多岐にわたる事業を持つ企業でも知の循環が進む基盤を整えました。組織内では「サンクスカード」で日常の感謝を可視化し、四半期ごとに感謝の数を経営指標として提示もしました。数字と感情の両輪を回すことが、協働の質を高めると実感しています。

「感謝経済」

実装の要点は、記録の信頼性、少額・国境越えの可搬性、コミュニティガバナンス、法制度との整合、既存決済との橋渡しです。誰が誰に何へ感謝したかを改ざんなく記録する台帳技術、1円未満でも世界へ安全に送れるコスト構造、相互癒着を防ぐ評価者の信用度管理、ユーティリティとしての位置づけの透明性、カードネットワークや銀行APIとの連携が必要です。

私はQ&Aサイトの運営で「ありがとう」を見える化する社内のサンクスカードを導入し、感謝の可視化が動機づけを高めることを確認しました。事業の拡大と上場を経て、利益や配当を問われ続ける圧力の中で、売上や利益だけでなく「感謝の数」を経営指標として掲げる試みも行いました。退任後は資産を手放し、原点に立ち返って「お金では測れない価値＝感謝」を世界で流通させられないかを問い直しました。

AIとロボットが多くの仕事を代替する時代に、人の価値はどこに残るか。私は「関係の価値」、すなわち「感謝」が立ち上がる関係性に人間の役割があると考えます。AIが回答を支援しても、最後の一押しは「あなたのために」という配慮や共感です。だからこそ、感謝の受け渡しを可視化し循環させる基盤が、人の役割を支えるインフラになります。ブロックチェーンの可能性を踏まえ、感謝という非貨幣価値をデジタルに記録・移転し、その蓄積自体を価値の源泉にする世界を目指しています。

質疑応答

質問：殴られた相手への感謝は難しいと思いますが、その後どのように心を保ちましたか。

回答：殴られた直後は追い詰められ、約2年ほど引きこもりの状態でした。主治医の紹介で寺院に通い、静かな空間で内省し、坐禅に取り組みました。呼吸と姿勢に意識を向けることで心が軽くなり、少しずつ楽になりました。形式的でも感謝の所作を続けると心に余白が生まれ、やがて無意識の反応にも変化が及ぶと感じています。

ニコニコレポート

妻鹿琢生 副会場監督

谷口一成 会長、クルーズ由美子 副会長、松山直樹 幹事

皆様こんにちは。本日はOK WAVEの兼元様に卓話をして頂きます。兼元様、よろしくお願ひ致します。

吉田明宏 君、武田信平 君

12日、J1百年構想リーグ第10節等々力で行われました。相手は、鬼木監督が指揮する首位の鹿島アントラーズ。フロントは、開始から優位に進め決定機を何回か作りましたが得点に至らず、0対0で前半を終了。後半に入ると8分、相手シュートの跳ね返りボールの処理を誤り、PKを献上。更に19分、ゴール前に上げられたボールに合わされて失点。その後も攻勢をかけるが無得点のまま終了。前後半を通して積極的に戦いましたが、決定力の差が勝敗を分けた試合となりました。

土田高記 君

兼元様、本日は川崎北ロータリークラブにお越し下さりありがとうございます。本日卓話を楽しみにしております。

親睦委員会：松波登 君、河内辰夫、三木守 君、清川大輔 君、小川貴之 君

株式会社OK WAVE 兼元社長、卓話楽しみにしております。宜しくお願ひ致します。

SAA：帯谷昌充 君、菅沼舜 君、妻鹿琢生 君

兼元さま、本日はようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしております。

今後の予定

4月29日	休会
5月6日	休会